



「そろえる」ということ

はきものを
そろえる

はきものをそろえると
心もそろう

はきものもそろう
ぬぐときにそろえておくと
はくときに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまって

そろえておいてあげよう
そのすればきつと

世の中の
人の心もそろうでしょう



上の詩は、長野市の円福寺というお寺の住職だった藤本幸邦さんがつくった詩です。きっと、見たことがある人も多いと思います。

「はきものをそろえる」ということは、心を一つのところに集中することであり、準備するということです。そして、心を整えて、次の取りかかりに気持ちをそろえていくことにつながります。このことは、すべてのことに通じるものだと思います。学習の準備も同じです。授業が始まる前に必要なものをきちんとそろえておくことができれば、心構えがしっかりとできて、授業に集中することができ、学習内容が身につきます。

私は、自分のはきものをそろえることができる人は、「自分の行動を冷静に考えることができる人」だと思います。そして、「まわりの方がどのような気持ちになるかも考えることができる人」だと思います。そのような人は、「他の人が乱したはきものでも、だまってそろえることができる人」でもあると思います。そんな気持ちが広がっていけば、きっと、三豊中学校は温かい学校になっていくでしょうね。

あなたのくつ箱は、どうなっていますか？右の写真は、イメージ写真です。どのようなそろえ方がよいのでしょうか・・・。



コミュニケーション力の大切さ

先日、ある地域の方と話している中で、「三豊中学校の生徒は、多くの人が自分からあいさつしてくれてとても素晴らしいですね。」とほめてくださいました。ありがたいことです。2021年の日本経団連の調査では、採用者に特に期待する資質として、回答企業（381社）の約8割が「主体性」、「チームワーク・リーダーシップ・協調性」を挙げています。「自分から・・・」ということや、「どのようにまわりの人と意思統一を図っていくか」ということが求められているようです。そのためにも、自分から進んであいさつをするなど、コミュニケーション力は大切にしたいですね。

お礼

一昨日は、山本地区の保護者の皆様にご協力いただき、除草作業を行いました。早朝より、50名を超える方がご参加くださいました。おかげさまで、体育祭を前に、運動場がきれいになりました。ありがとうございました。